

各種出展、実施、講習等報告書

シーバードジャパンでは2024年度広報関連事業に取組み、中長期的視点で拠点活動を支援してまいりました。

催事への出展にとどまらず、海上保安庁(管区海上保安本部、保安部、保安署)、日本海洋レジャー安全・振興協会、JCI、日本マリン事業協会をはじめとするマリンレジャーに関連する諸団体とも交流を図り、シーバード活動への理解、支援を推進しています。

実施日	実施エリア・行事名	取組み概要	場所
4月12-14日	関西ポートショー2024	水上オートバイ展示・活動PR	新西宮ヨットハーバー(兵庫県)
5月23日	「海イコ」メディア体験乗船会UMI協議会	メディア対象PWC体験乗船・活動PR	若洲ヨット訓練所(東京都)
5月24-26日	第36回 広島ポートショー	水上オートバイ展示・活動PR	広島観音マリーナ(広島県)
6月1-2日	2024九州ポートショーin福岡	水上オートバイ展示・活動PR	福岡市ヨットハーバー(福岡県)
7月14-15日	マリンカーニバル神戸2024	水上オートバイ展示・活動PR	メリケンパーク(兵庫県)
10月18-20日	関西フローティングポートショー2024	水上オートバイ展示・活動PR	新西宮ヨットハーバー(兵庫県)
3月20-23日	ジャパンインターナショナルポートショー2025	水上オートバイ展示・活動PR／水域警戒	パシフィコ横浜／横浜ベイサイドマリーナ(神奈川県)

ポートショー出展と体験イベント実施水域警備

マリンレジャーにかかわる事業者、行政関係機関が一堂に会するイベントへの出展は、シーバード活動の周知とともに、開催地区で活動する拠点の認知と理解者、さらには志を共にする仲間を獲得する機会として位置づけ展開しています。

マリン市場およびシーバード拠点活動が盛んな地区における催事に出展し、シーバード活動の広報活動を展開しました。

●地域ポートショー(関西/中国/九州)

シーバードジャパンは、マスコミ報道によって注目度の高い水域となっている地域での広報発信を目的に地域ポートショーに出展しました。

[関西ポートショー／広島ポートショー／九州ポートショー／関西フローティングポートショー]

シーバードジャパンは周知広報を目的に、新西宮ヨットハーバー(兵庫県西宮市)において4月12日(金)から14日(日)「関西ポートショー2024」および10月18日(金)から20日(日)の「関西フローティングポートショー」、5月24日(金)から26日(日)、広島観音マリーナでの「広島ポートショー」、6月1日(土)、2日(日)、福岡市ヨットハーバー(福岡県福岡市)にて開催された「2024九州ポートショー」に出展しました。

シーバードジャパンのブースにも多くの家族連れが来訪し、安全第一、事故ゼロをPR。展示した水上オートバイに大勢の子供たちが乗って、写真撮影を楽しんでいました。

[マリンカーニバル神戸]

シーバードジャパンでは7月14日(土)、15日(日)の二日間にわたって、神戸市マリンパーク(兵庫県垂水)にて開催された「マリンカーニバル神戸」に出展し、陸上展示の水上オートバイでの記念撮影などでPR活動を行いました。シーバードテントには多数の親子での来訪が続き、水上オートバイにまたがつてのライダー気分を楽しんでいました。

テントブースでは水上オートバイ展示、神戸運輸監理部、第五管区海上保安本部、UMI協議会等とも協力して、事故報道等で広がるマイナスイメージを払拭し、水上オートバイを用いたシーバード活動の周知に取組みました。

●海上保安庁や日本海洋レジャー安全・振興協会などとの連携強化

シーバード隊員の海上安全指導員資格認定の促進をはじめ、拠点活動の現場にある保安部、保安署との日頃からの連携構築に努めています。

船舶の漂流、座礁や釣り人の落水や海水浴客が流されているなどの万が一の場面で、保安部や保安署からの要請を受け、捜索や救助活動を速やかに対応できる拠点も増えつつあります。海上保安庁をはじめ公務救難機関とのいっそうの連携を強くしていきます。

●海洋性レジャーに関連する諸団体との連携

■UMI協議会主催事業への協力

シーバードジャパンでは5月23日（木）、若洲ヨット訓練所（東京都江東区）にて開催された、UMI協議会主催の「海イコ メディアマリン体験会」に参加しました。UMI協議会はパーソナルウォータークラフト安全協会や日本マリン事業協会、サーフィン連盟などで構成される団体です。

当日はボート、ヨット、カヤック等の体験プログラムが実施される水面で、多数のメディアを前に水上オートバイでの溺者救助デモと参加者の体験乗船プログラムを実施。タレントのさん、2024ミス日本「海の日」の有馬佳奈さんをゲストに迎え、マスコミ19社39名の取材がありシーバード活動をPRすることができました。（協力拠点：シーバード館山、富津）

■日本マリン事業協会との連携

ポートショーなどマリンファンや地域で注目されるイベントへの出展、水辺警備の協力をはじめ、PWSAとして世界規模の市場状況把握、行政、自治体との情報、意見交換を積極的に展開します。水上オートバイがかかる事故等への対応ばかりでなく、安全安心に貢献する広報、周知に取組むことによって、拠点活動の環境醸成を目指します。